

議事録

件名	大網白里市総合教育会議
日時	平成30年2月1日(木) 14:20~15:00
会場	瑞穂小学校会議室
出席者	<p>【構成員】</p> <p>市長 金坂 昌典</p> <p>教育委員会</p> <p>委員長 齋藤 壽彌</p> <p>委員 椎名 英子</p> <p>委員 望月 美咲</p> <p>教育長 小高 實</p> <p>【事務局関係】</p> <p>管理課学校教育室長 中村 幸雄</p> <p>管理課主幹 鵜澤 保之</p> <p>管理課副課長 花沢 充</p> <p>管理課総務班長 森川 和子</p>
傍聴人	なし
議題	小学校における外国語教育について
<p>1. 開会</p> <p>2. 市長あいさつ</p> <p>教育委員の皆様におかれましては、ご多忙のところ総合教育会議に、ご出席いただきありがとうございます。</p> <p>また、日頃から本市教育行政の推進にご尽力を賜り、心より感謝申し上げます。</p> <p>さて、昨年度の総合教育会議では、本市の教育大綱の目指す「幼児期からの確かな学力はもとより、豊かな心と健やかな体をもつ子どもの育成」に向け取り組んでいる、幼稚園・小学校・中学校の連携事業を視察いただくとともに、「発達段階に応じた教育の推進」のあり方についてご議論いただきました。</p> <p>本日は、平成32年(2020年)から小学校3年生以上における外国語教育の完全実施が控えていることを踏まえ、「小学校における外国語教育」を議題とさせていただきます。</p> <p>これよりは、先ほどの視察内容を踏まえ、協議を進めてまいります。この会議</p>	

を裏切るものとするべく、皆様におかれましては忌憚のない意見等をいただきたいと思いますと考えております。

本日は、どうぞよろしく願いいたします。

### 3. 議題

#### (1) 小学校における外国語教育について

(金坂市長)

本日の議題は、「小学校における外国語教育について」ということでございます。まずは、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

先程の市長のあいさつにもありましたとおり、平成32年(2020年)から新学習指導要領に基づき、小学校3年生以上で外国語教育が完全実施されます。

来年度は、小学校5年生及び6年生で英語の教科化、また、小学校3年生及び4年生では、外国語活動が先行実施されます。

市長を始め教育委員の皆様には、この会議が始まる前に、「小学校6年生における外国語活動」を参観していただきました。

今回のテーマは、「小学校における外国語教育」についてでございますので、授業の様子をご覧になって、どのようにお感じになられたのか、活発なご意見等をいただければと考えております。

以上でございます。

(金坂市長)

それでは、先ほど小学校6年生の英語の授業を見させていただきましたけれども、委員の皆様で感じたこと何でも構いませんので率直なご意見等をいただければと思います。

授業をご覧になった感想等を含めてよろしくお願いします。

(齋藤委員)

私が小学生の時は、英語の授業はありませんでした。中学生の時は、文法と書くことだけで通算10年学びましたが未だに喋れません。

今の授業は、英語本来の喋ると言うことに重点をおいていて、私が学んだ時から根底から違うなと感じました。また、先生と生徒がフレンドリーで、私たちの時よりも授業そのものが違うと感じました。

(金坂市長)

ありがとうございました。

(椎名委員)

A L Tの存在が大きいと感じました。表情が豊かで子どもたちの心をつかむのが

非常に上手です。日本人はおとなしい民族で、外国の方を目の前にすると頭が真っ白になってしまう。私だけでしょうか？

子どもたちもまだ、そう言うところがあると思うのですが、ALTと関わることで慣れる。きっとそういうことが将来に結び付くと感じました。

(金坂市長)

ありがとうございました。

(望月委員)

私も長年習いましたが身につけていない感じです。ALTの授業を長い時間見たのは初めてで、引き付ける力、文化の違いは凄いなと思いました。集中させるとき手拍子やリズムをとるそうしたことが、楽しそうでありました。日本の先生と外国の先生と一緒に教えることはとても意義深いことだと感じました。

(金坂市長)

ありがとうございました。

(小高委員)

私も小学校の英語の活動をよく見るのですが、今日の先生は大変優れている教員の一人です。スペインの日本人学校に2年間行ってきた経験がある。今後、小学校の教員はこのような先生にならないと時代に対応できないと言うことです。

ALTがいると場が和むと言うか乗せ方がうまいです。表情が豊かですから、暗い気持ちになっている子も明るくなって乗ってきます。ALTの存在は大きいなと改めて感じました。

(金坂市長)

みなさん感じたことは、同じで昔の授業とは違うと。昔は文法ばかりでしたから記憶に残っていないくらいですけど、そういう反省からどんどん変わってきているのではないかと感じました。ALTは、いろいろな経験をしてきていると思いますが、今、3人いますがどの位授業ができますか？

(小高委員)

みんな同じくらいできます。

(金坂市長)

それであればいいのですが、ALTに頼るところは大きいなと改めて思ったのと久我先生は担任でたまたま授業をやられているとは思いましたが、専門でやられているということなので、今後、3年生からとなりますと各学校に配置を考えていかないといけないと思いました。

次に、齋藤委員に民間企業を長く経験されているということから、子どもたちが大人になって働いていく上で今後、外国語が必要不可欠になっていくと思いますが、

子どものころから外国語を学ぶ必要性について伺いたいと思います。

(齋藤委員)

私が民間企業にいたときは、商談の中で外国の方がくることがありました。彼らは英語で話してきますが社内では話せる者がいなく、通訳を雇って商談を行ったことがありました。

将来の仕事の選択肢の中に英語を使った職に就く方も出てくると思うので、グローバルな人材を作るうえでも子どものころから外国人と触れ合うことが非常に大事だと思います。

一方で小学校の先生方の英語のレベルアップ研修も大切だと思いますが、過重労働にならないよう教育委員会でもフォローする必要があると思います。

(金坂市長)

海外の日本人学校に行くような制度はありますか？

(小高委員)

海外の施設に行くのは日本語なり数学なりを教えるものであります。現地では世界から人が集まってきており、共通語が英語であるので英語が堪能になって帰ってきます。

(金坂市長)

今、行ってる方はいますか？

(小高委員)

本市ではいません。帰ってきた先生はいます。

(金坂市長)

世界の方が集まる場に行ければ財産になりますね。  
これは続けていきますか？

(小高委員)

文科省では続けていくと言っています。個人が手をあげ選考されればいけますが、今年希望者はいません。

(金坂市長)

希望者がいればいいですね。

(小高委員)

本市は日本人学校に行った職員が多いと思います。

(金坂市長)

期間はどのくらいですか？

(小高委員)

1年で帰る者もいれば上限3年の者もいます。

(金坂市長)

椎名委員と望月委員に伺います。

保護者として子どもたちは何時ごろから外国語を学んだほうがいいのか？また、どのように学んでいったらいいのか？

小さいころから英語の塾とか行っている子がいますが？お話を伺えればと思います。

(椎名委員)

外国語活動が実施される3年生4年生というのが、とてもいい時期だと考えています。それは小学校生活にも慣れ始めて、そのころは何でも素直に受け止める時期だと思います。吸収する力もすごく強いですし、小学校、中学年から始めるのはとてもいいと思います。英語を学ぶことが楽しいという経験をしておくとその後の学ぶ姿勢というのが、変わってくると思います。

従来、中学校、高校と6年間、私たちの時代は学んできましたが、本来であれば、日常生活での会話が可能なほどの量を学んできてははずだと思います。ただし、実際は外国の方を目の前にすると英文が全く浮かんでこない。学び方の改善が必要だということでこのような、形になったと思いますけど、より実践的な学習を始めることで使える英語にすることが重要だと考えています。それと、英語を理解して話せることが将来どのようなことに活かせるのか自ら創造のできる環境づくりができるようになるといいと思います。それには外国語を使ったお仕事に就かれている方や海外勤務もしくは留学そういう経験されている方が身近にいると思いますが、そういう方々のお話を伺うとか、そういう経験をさせてあげられると学ぶ目的がより鮮明なるのではないかと考えます。

(金坂市長)

ありがとうございます。身近な方に学校に来て先生になってお話をしてもらおうということですね？

(椎名委員)

身近な方がいいと思います。社会経験を積まれた方、その実際の話聞くことで、より身近に考えられるのではないかと思います。

(金坂市長)

なぜ勉強することが必要であるのかと考える。実際にこのようなことはありますか？

(小高委員)

小学校では、以前は総合的な学習の時間で近所に住んでいる外国の方の話を聞いたり、外国の料理を教えてもらったりしていました。最近はあまり活発ではありませんが、あります。

(金坂市長)

仕事の話はありますか？

(小高委員)

あります。

(金坂市長)

望月委員はいかがですか？

(望月委員)

私のころは中学校から文法とかを学んできました。

小学校のうち楽しさを知ること、違和感をなくすことが良いと思います。息子に聞いてみたところ、ありきたりの教材ではなく、日本人が当たり前に使っている「さよなら」とかいうニュアンスを英語になると「シーユー」とかいろんな言い方がある。そうことを習いたかったと。このようなことを大事にしてほしいと思います。ただ言葉を学ぶのではなく外国の方の考え方を学ぶことで興味の幅も広がるのではないかと思います。

(金坂市長)

それには交流が必要ですよ。

(望月委員)

子どもたちには可能性がありますので、興味があることから子供たち自ら触れていくこと。そのような場を提供することはとてもいいことと考えます。

(金坂市長)

学ぶきっかけをどのようにするのか？子どもたちにどういうきっかけで英語のところに入ってきてもらうのかと文化も含めて知るには、ALTをはじめ外国の人と交流は必要ですよ。

(望月委員)

先ほど授業を拝見して、数字の教え方にしても繰り返し練習していたのが印象的で、あのようなふれあいは大事だと思います。

(金坂市長)

今日の授業はすごくよかったなと思います。ちなみに、今日の授業は誰が考えていますか？

(小高委員)

リードは久我先生です。学校ではそのようなプログラムを各学校で残して誰でも先生が指導できるように教育委員会を通してお願いしています。個人の指導が指導資料として残っています。

(金坂市長)

先生は、日本語使ってませんでしたね。

齋藤委員はいかがですかね？

(齋藤委員)

私のころとは違います。外国の方と当たり前に付き合えるのがいいですよ。普通に会話ができ挨拶ができ、ALTは運動会にも参加してくれて、私たちのころの外国の方の印象とは違います。

(金坂市長)

教育長に伺います。外国語教育の必要性と小学校における外国語教育の対応についてお聞かせください。

(小高委員)

必要性ですが、皆様ご存知のとおり世界の中の流れ、産業界、科学界でもグローバル化しています。齋藤委員の先ほどのお話にも出ましたが商談の時、国際語は英語です。世界の人とコミュニケーションをとるのに英語が必要と言うのが一点目。もう一点は、中学校からでは遅いので、小学校から行わなければいけないということ。私たち世代は中学校から学習していますが、物になっていないと証明されてるわけで、小学校から遊び感覚で、生活感覚で英語を学んでいかなないと習得できないという大きな理由から英語が必要だということ。あと対応の件ですが、小学校に平成12年度、今から17年前ですけど、総合的な学習の時間、その中に国際理解に関する学習と言うのがあり、その時に初めて小学校に近隣の外国人の方を呼んでとか外国留学していた方の話を聞くようなことを小学校に取り入れてました。平成23年度に今の5、6年生に外国語活動ができました。そして32年度から3、4年生に外国語活動が入り、5、6年生が外国語科となり評価を付けることとなります。

対応ですが、お手元に市の方針と言う資料がございます。それを見ながら説明をさせていただきます。32年度から完全実施ですが文科省は30年度から小学校3、4年生、小学校5、6年生に前倒ししてやりなさいとなっています。今年、市長に予算を付けていただきALTをプラス1名採用します。小学校の授業時数は、1年生は25コマ、5時間で終わると言うことです。2年生は26コマです。ある

1日のみ6時間、残りの4日は5時間で帰れます。今3年生は27コマ、4年生から6年生は29コマ、30コマあるうちの29コマ授業があります。来年度から教科化になり1時間増えますので30コマ埋まってしまうのが課題となります。働き方、教員の長時間労働に逆行することで、大変なことです。

A L Tの割り当てですが、平成29年度の小学校の時数が市内7校の5、6年生は1時間ありましたので28時間、28学級です。平成30年度から3、4年生に1時間、5、6年生が2時間ずつ81時間になり53時間増えます。A L Tを採用しないと小学校に行けなくなる状況です。しかしながら1名増員できますので、5、6年生で今は2週間に1時間位ですが、来年度からは5、6年生は毎週2時間あるうち1時間はA L Tを付けられます。3、4年生が大変で、2週間に1時間とか3週間に2時間とか一人増えてもそのような状況です。それが課題になります。

今後の課題として、1点目は4年生から6年生が日課表が一杯（30コマ）になること、2点目は小学校の先生が英語を専門に勉強をしてくれてきませんので、教員を育てなければならないこと、そして3点目がA L Tもう一人位欲しいということが課題であります。

(金坂市長)

今、教育長から説明がありましたが、聞きたいことや疑問はありますか？

(齋藤委員)

6時間ですと終わりは何時ですか？

(小高委員)

3時半前後です。夏場はいいのですが冬場は日が暮れてしまいます。放課後の活動ができなくなります。職員の研修時間も取れなくなります。

(齋藤委員)

先ほどお話がありました教員の長時間労働が月80時間問題となっているときにこれが導入されるとやりくりが大変になりますよね。

(小高委員)

文科省が増やすのはいいのですが、何か削ってくればいいのですが。

(金坂市長)

今の話が出るまで、何か削ると思っていました。

(齋藤委員)

増やす分何か削ればいいのですがね。

(金坂市長)

道徳の教科化は？



(小高委員)

来年です。道徳は評価が入ってくるだけでコマは増えません。週5日で6時間といいましたが、7時間を考えなければいけないとか、細かく行うとか日課表の工夫がこれから考えなければなりません。

(金坂市長)

市単位で柔軟に考えていいのですか？

(小高委員)

できます。本市ではいろいろな方から意見を聞き行っています。

(望月委員)

総合学習の時間に外国語を行うことは？

(小高委員)

やっていますが、総合学習の時間も大切です。

(金坂市長)

A L Tは一人で一日6時間とかどれくらい勤務していますか？

(小高委員)

ほぼ目いっぱい勤務しています。午前中は中学校、午後は小学校のように勤務しています。

(齋藤委員)

今、何人いますか？

(小高委員)

3人です。学校以外にも公民館活動もしています。

(望月委員)

春から一人増えますよね？

(小高委員)

それは、小学校が増える分です。

(齋藤委員)

道徳は大人の常識、知識でしゃべれるのもありますが、英語になると先生方大変ですよ。

(小高委員)

先程、課題で申した通り先生方が育たないと

(齋藤委員)

英語を教えてと言われても大変ですよ

(齋藤委員)

そうするとALTみたいな方を頼まないと対応できないかも知れませんね。

(金坂市長)

そのほかありますか？

では意見が出尽くしたようなので会議を終了させていただきたいと思います。円滑な議事運営にご協力いただきありがとうございました。それでは議長任を解かせていただきます。

4. その他

なし

5. 閉会

議事終了

その他

なし

閉会